

製品安全データシート

1. 製品及び会社情報

製品名	カラス忌避剤 250ml (エアゾールタイプ)
会社名	株式会社 リフレ
住所	京都府城陽市平川山道 33-1
電話番号	0774-55-1352
Fax 番号	0774-55-2776

2. 組成成分情報

単一製品・混合物の区別	混合物
一般名	エアゾール
成分名	原液 エチルカルビトール、BHT(ジブチルヒドロキシトルエン)、イソプロピルアルコール カラス忌避香料
	噴射剤 液化石油ガス 以上合計 100%
国連分類	class 2 (高圧ガス)
国連番号	1950 (エアゾール)
PRTR 法	該当せず

3. 危険有害性の分類

分類の名称	: 引火性物質、可燃性ガス
危険性	: 引火性液体 (消防法第 4 類第 1 石油類) と液化石油ガスとの混合物のため、空気との爆発性混合ガスを形成する。
有害性	: 眼、皮膚、粘膜に接触すると刺激性がある。
環境影響	: 魚毒性あり。

4. 応急措置

吸入した場合	: 被災者を直ちに空気の新鮮な場所に移し、頭を低くして横向きに寝かせ身体の保温に努める。 応急措置を施した後、必要に応じて医師の診断を受ける。
皮膚に付着した場合	: 石鹸で十分洗浄後、清浄な水で洗い流す。 必要に応じて医師の診断を受ける。
目に入った場合	: 直ちに清浄な水で 15 分以上洗眼する。 応急措置を施した後、速やかに眼科医の診断を受ける。 コンタクトレンズを使用している場合は、固着していない限り取り除いて洗浄する。
飲み込んだ場合	: 口をすすぎ、コップ 1~2 杯の水又は牛乳を飲ませて希釈する。 無理にはかせてはいけない。 応急措置を施した後、速やかに医師の診断を受ける。

5. 火災時の措置

- 消火方法 : 初期火災の場合、粉末・炭酸ガス・アルコール等を用いる。
- 周辺火災の場合 : 移動可能な容器は、速やかに安全な場所に移す。移動不可能の場合は、容器及び周囲に散水し冷却する。
- 消火剤 : ABC または BC 型粉末消火器、二酸化炭素、ジライケミカル。
- 着火した場合 : 約 50 以上に加熱されれば破裂や爆発の危険が生じ、人身事故の可能性が生じるので速やかに避難する。特に大量の場合は、後の消火作業は消防署員にまかせたほうが無難である。

6. 漏出時の措置

- ・速やかに、紙・布等で拭き取る。
- ・室内は開放換気する。充満時に換気扇などを入・切電すると爆発・火災の原因となることがある。漏出物は低い所に滞留するのでほうきなどで掃きだすのがよい。
- ・付近の着火源（火気、高温体など）や可燃物を速やかに取り除くこと。
- ・排水溝、河川等に排出しないように、環境への影響を起こさないように注意する。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

- ・人体にはスプレーしないで下さい。
- ・炎に向けて使用しないこと。
- ・ストーブやコンロ等火気の付近で使用しないこと。
- ・火気を使用している室内で大量に使用しないこと。
- ・スプレー缶に記載の注意事項は必ず読んで下さい。
- ・吸い込んだり、眼、皮膚及び衣類に触れないように、適切な保護具を着用し、できるだけ風上から作業する。
- ・また室内で使用する場合は、十分に換気の良い状態で使用すること。また蒸気の発散を極力抑えるために、みだりに噴射して漏らしたり、拭き取った布や紙を室内に放置することは避けて下さい。
- ・容器は、落下させるなどの衝撃を与えないように気を付けること。

保管

- ・直射日光を避け、温度が 40 以上となる場所に置かないこと。
- ・高湿度な場所を避けること。

8. 暴露防止及び保護措置

管理濃度 : 400ppm 以下が望ましい。

許容濃度 : 日本産業衛生学会 400ppm (IPA 単体)
ACGIH 400ppm (TWA) (IPA 単体)
500ppm (STEL) (IPA 単体)

設備対策 : 保護具の着用が望ましい。閉鎖空間では大量に使用しない。

保護具 : 長時間にわたり多量に使用する場合は、保護眼鏡・保護手袋・保護衣・有機ガス用防毒マスク等を使用すること。少量なら一般的配慮で可。

9. 物理的及び化学的性質

物理的形狀

形状 : 液体
色 : 黄色～微赤色
臭い : 特有の香気
溶解性 : 水に可溶

10. 危険性情報

可燃性 : あり (引火点 - 104.4 ~)
発火性 : あり (発火点 345 以上)
爆発性 : 低所に滞留して爆発性混合ガスをつくりやすいので、火気のある狭い閉鎖空間では使用しないこと。
爆発限界 : 下限 1.8%～上限 12.0% (vol%)
自己反応性 : なし
安定性・反応性 : 通常の状態では安定。

11. 有害性情報

カラス忌避香料 LD₅₀ (急性経口毒性) 2,000mg/Kg以上 (ラット)
BHT LD₅₀ (急性経口毒性) 1,040mg/Kg (マウス)
エチルカルビトール LD₅₀ (急性経口毒性) 6,500mg/Kg (ラット)

12. 環境影響情報

BHT 分解性 : 分解度 4.5% by BOD
蓄積性 : (BCF) : 230～2500 (濃度 50 µg・L); 330～1800 (濃度 5 µg/L)
魚毒性 : ヒメダカに対する急性経口毒性 LC50 : 5.0mg/L/48H

13. 廃棄上の注意

- ・ 使い切って廃棄すること
- ・ 火気のない戸外でガス抜きをしてからの廃棄が望ましい。
- ・ 各自治体での廃棄物分類と廃棄方法に従うこと。
- ・ 大量廃棄の場合は、廃棄物の処分に関する法律に従うこと。

14. 輸送上の注意

- ・ 温度が 40 を超える状態での運搬はしないこと。
- ・ コンクリートの地への落下などの物理的な衝撃を避けること。
- ・ 消防法危険物の第一類及び第六類と混載しない。

15. 適用法令

消防法 第四類 : 第 1 石油類
高圧ガス保安法適用除外
PRTR 法 該当せず

16. その他の情報

高濃度での使用、他種の商品への転用については再評価が必要ですので、製造者に問い合わせ下さい。

記載内容の問い合わせ先 : 品質管理室 電話番号 0774-55-1352
Fax 番号 0774-55-2776

引用文献 : 製品安全データシート作成指針 (日本化学工業会)
溶剤ポケットブック (有機合成化学協会編) 他
原料メーカー提出資料 他

記載の内容は現時点で入手できた資料や情報に基づいて作成しておりますが、記載のデータや評価に関しては、いかなる保証をなすものではありません。また注意事項は通常の手扱いを対象としたものですので、特別な手扱いをする場合には新たに用途・用法に適した安全対策を実施の上、お取扱い願います。